

2023年7月25日

各位

会社名 株式会社モバイルファクトリー
 代表者名 代表取締役 宮脇 裕二
 (コード：3912 東証プライム)
 問合せ先 常務執行役員 佐藤 舞子
 (TEL. 050-1743-6211)

**プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況
 及びスタンダード市場への選択申請及び適合状況について**

当社は、2021年11月12日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」及び、2023年3月24日に「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」を公表し、プライム市場の上場維持基準への適合に向けた取り組みを進めてまいりました。

今般、2023年4月1日に施行された東京証券取引所（以下、「東証」）による規則改正に伴い、スタンダード市場への上場の再選択の機会が得られたことから、これまで社内で協議を重ねた結果、本日の取締役会において、2023年10月20日を移行日とした「スタンダード市場」へと戦略的に市場区分を変更する選択申請を行うことを決議し、東証へ申請いたしましたので、お知らせいたします。

なお、スタンダード市場への選択理由及びスタンダード市場の上場維持基準への適合状況については、下記のとおりであります。

記

1. 当社のプライム市場の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の直近基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め、以下のとおりとなっております。「流通株式時価総額」については、2022年12月末時点で基準を充たしておりません。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の適合状況及びその推移	2021年6月末時点(移行基準日時点)	3,729人	41,838単位	58億円	47.3%	2.9億円
	2022年12月末時点	3,292人	39,018単位	36億円	43.7%	0.9億円
プライム市場の上場維持基準		800人	20,000単位	100億円	35.0%	0.2億円
計画書に記載した計画期間		—	—	2025年12月末	—	—
適合状況		適合	適合	不適合	適合	適合

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. プライム市場の上場維持基準への適合に向けた取り組みの実施状況及び評価

当社は、2023年3月24日に公表いたしました「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」に記載のとおり、2023年1月27日に公表いたしました「『中期経営計画（2021～2025）の更新（アップデート）』に関するお知らせ（以下、中期経営計画アップデート）」推進による業績拡大及びコーポレートガバナンスの充実に努めるとともに、株主還元施策の取り組みや企業価値の向上並びに時価総額の向上を図ってまいりました。

現時点における進捗といたしましては、新型コロナウイルス感染症の分類が変更された影響もあり、様々な施策が行えていることから、主力の位置情報連動型ゲームの「駅メモ！」が業績を力強く牽引し、安定的な利益をあげております。一方、ブロックチェーン事業では、売上が低迷していたNFT関連事業に対して選択と集中を実行し、当社が強みを持つ位置情報連動型ゲームの運営と、2024年上期のIEOに向けた準備及び開発に注力する方針へと変更しており、計画自体は順調も経営成績である2023年12月期の当第2四半期連結累計期間の連結EBITDAは478,305千円（2022年12月期の前連結会計年度の連結EBITDAは884,762千円）と中期経営計画アップデートで掲げている2025年12月期までの連結EBITDA30億円の目標値には未達であり、この取り組みの効果発現には時間を要すると考えております。

これらを踏まえ、当社で試算し算出を行った結果、2023年6月末時点の「流通株式時価総額」につきましては、変わらず上場維持基準の不適合となりました。

3. スタンダード市場の選択理由

当社は、直近基準日時点で流通株式時価総額がプライム市場の上場維持基準に適合しておりません。今般の東証の規則改正で上場維持基準に抵触した後の経過措置の取り扱いが明確化されたことによって、今後も継続してプライム市場の上場を維持した場合に、上場廃止となるリスクが懸念されることから、株主の皆様が継続して当社株式を保有・売買できる環境を確保することが重要と判断し、スタンダード市場の選択申請を行うことといたしました。

なお、スタンダード市場への移行後においても、「中期経営計画アップデート」推進による業績拡大及びコーポレートガバナンスの充実に努めるとともに、復配を交えた株主還元施策や持続的な成長と企業価値の向上並びに時価総額の向上を継続して取り組んでまいります。また、株主・投資家の皆様との積極的な対話やIR活動にも努めてまいります。

4. スタンダード市場の上場維持基準への適合状況

直近基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。当社は、スタンダード市場への上場の選択申請時点で、同市場すべての上場維持基準に適合していることから、今後、上場維持基準の各項目の判定基準日時点において、同市場の上場維持基準のすべてに適合している場合には、「スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画」を開示いたしません。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	月平均 売買高	純資産 の額
当社の 適合状況	2022年12月末 時点	3,292人	39,018単位	36億円	43.7%	19,220単位	正
スタンダード市場の 上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25.0%	10単位	正
適合状況		適合	適合	適合	適合	適合	適合

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※月平均売買高は、2022年7月から2022年12月までの6ヶ月間の平均で、当社で試算し算出を行ったものです。

※純資産の額は、2023年1月27日に公表した「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に基づいたものです。

以 上